

京都市立吳竹総合支援学校

令和4年度 前期学校評価について

令和4年11月7日

令和4年度前期「学校評価アンケート」にご協力ありがとうございました

前期の学校評価を、保護者や教職員、児童生徒のアンケート結果を踏まえて分析をしました。自由記述欄でいただいたご意見もすべて、全教職員に周知しています。皆様の貴重なご意見を参考にして、全教職員で課題改善に取り組んでまいります。今後とも、よろしくお願ひいたします。

＜前期学校評価アンケート結果について＞

- ◎実施 令和4年8月下旬～9月上旬
◎方法 保護者、教職員は各項目について「実現度」を5段階で回答
児童生徒は、各項目について「実現度」を3段階で回答
◎回答率 1家庭に1枚配布

	保護者(189)	児童生徒(195)	教職員(137)
回答数	144	91	132
回答率	76.2%	46.7%	96.4%

◎アンケート項目について

今年度の「学校教育目標」、「各学部の教育目標」に沿って作成しています。

学校教育目標

地域社会で、自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、個々の可能性を最大限に伸ばす

アンケート大項目



1. 健やかな身体をつくる
2. 自分なりの方法で意思を表出する
3. 人を大切にし、共に生きる
4. 願いや夢を持って心豊かに生きる
5. 自ら考え、自ら行動する
6. 役割を担い、役に立とうとする
7. ルールやマナーを守って行動する
8. 全体に関すること



【保護者・教職員アンケート 実現度に関する分析結果】

○分析文中では、保護者全体を**保護者**、教職員全体を**教職員**と表記します。

○表では保護者、教職員アンケート結果の「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合(%)を表示しています。「実現度」の高い(90%以上)項目の数値はグレーで着色し、低い(60%台以下)項目の数値には下線を引いています。

1. 健やかな身体をつくる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
① 学校は、児童生徒の健康維持や体力づくりに十分に取り組んでいる。		97.9	96.7	92.4	95.1	89.2
② 学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる。		91.3	100	90.9	93.0	86.1
③ 児童生徒は、自分の心や身体を大切にしようとする姿が育っている。 (「しんどい」ことを伝える、薬を飲む 等)		79.6	77.0	80.6	82.3	89.3
④ 学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる。 (手洗いの励行、マスクの着用 等)		87.0	93.5	95.6	92.4	91.6
⑤ 学校は、児童生徒の健康・安全を守っている。		97.7	100	95.4	97.2	95.4

2. 自分なりの方法で意思を表出する		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑥ 学校は、児童生徒が自分なりの方法で挨拶やコミュニケーションができるように取り組んでいる。		97.7	96.7	89.6	93.7	95.4
⑦ 児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしたり、コミュニケーションをとったりしている。		93.4	87.1	83.3	87.3	93.1

3. 人を大切にし、共に生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑧ 学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる。 (校内・地域 等)		84.8	87.1	89.4	87.5	80.7
⑨ 児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している。 (校内・地域 等)		87.0	83.9	83.0	84.5	79.9
⑩ 学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている。		80.0	96.7	86.6	86.6	90.0

4. 願いや夢を持って心豊かに生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑪ 学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している。		93.4	100	93.9	95.1	92.3
⑫ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、包括支援プランを作成している。		100	100	92.5	96.5	91.5
⑬ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている。		86.6	83.9	89.4	87.3	87.0
⑭ 児童生徒は、願いや夢を持って、登校している。 (※この項目については保護者の「わからない」の回答が20.3%と多くあったので下段に「わからない」の回答を母数に含まない数値も記しました。)		<u>58.7</u>	<u>67.8</u>	<u>66.7</u>	<u>64.4</u>	77.0
		83.9	87.5	75.0	80.9	84.2

5. 自ら考え、自ら行動する		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組むような学習や活動を行なっている。	93.3	100	86.6	91.7	91.5	
⑯ 児童生徒は、達成感や満足感を持って、学習や活動に取り組んでいる。	91.3	96.8	82.1	88.2	89.2	

6. 役割を担い、役に立とうとする		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるように取り組んでいる。	91.1	96.8	92.4	92.9	93.8	
⑯ 児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している。	86.7	93.6	84.8	87.3	93.8	

7. ルールやマナーを守って行動する		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている。	90.9	100	90.9	92.9	91.4	
⑯ 児童生徒は、ルールや約束を守って行動しようとする姿が見られる。	77.2	93.6	84.6	84.3	90.8	

8. 全体に関すること		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている。	93.3	96.8	96.9	95.7	94.7	
⑯ 学校は、授業を大切にし、熱意を持って児童生徒の指導や支援をしている。	97.7	100	95.5	97.1	96.1	
⑯ 学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている。	95.4	100	96.9	97.2	95.4	

◆保護者アンケートの結果分析および今後の課題◆

【1.健やかな身体を作る】

改修工事のためにグラウンドが十分に使用できない現状ではあります、学習活動の内容、桃陽総合支援学校の施設の利用や、ミズノのグラウンドを使用した学校祭「体育の部」(中・高)などにも一定の評価をいただけたのではないかと推測されます。健康維持や感染症予防に関する取組については児童生徒が他者に伝えようとする姿勢を引き出し、「表情で表す」「痛いところに視線を向ける、指し示す」など、一人一人の児童生徒の実態に応じて自分の体調について伝えられる自分なりの表現を身に付けられるよう、今後も家庭と学校とで連携して進めていきます。

【2.自分なりの方法で意思を表出す】

校内では声を掛けられて応えたり、児童生徒同士が関わり合ったりするあたたかな姿がよく見られます。指導者は「コミュニケーションをとりたい」「コミュニケーションをとろう」(欲求を伝えよう)と思える環境設定を心掛けると共に、わずかな発信も見逃さないようにし、発信できたことを認め、共感し、次のコミュニケーションにつながるようにしたいと考えます。表情、発声、会釈、握手、ICT機器の活用などのさまざまな方法での挨拶や一人一人に適したコミュニケーション手段を見出し、学校だけでなく地域や家庭においても、意思の表出をより豊かにし、人との関わりの輪がさらに広がるよう取組を継続します。



【3.人を大切にし、共に生きる】

コロナ感染予防に配慮しながら、さまざまな交流等の学習が行われています。小学部では居住地校交流、中学部、高等部ではユニット学習でボランティアの方を招いての体験学習、生き方探究チャレンジ体験、福祉体験実習なども行い、それぞれの児童生徒がいろいろな姿、表情を見せてくれています。学校での様子を保護者により詳しくお知らせするとともに、児童生徒が人との関わりの中で、相手のことを考えて行動できる姿勢を育んでいきたいと考えています。近年のコロナ禍で児童生徒も教職員も人の関わりに慎重になっていますが、少しずつ活動が戻ってきた今、コロナ禍の間に取り入れたりモート他、創意工夫を凝らしたこれまでとは違った学びを取り入れていくことも大切です。コロナ感染予防を重視しながら、児童生徒が「人を大切にし、共に生きる」ことを今後も目指します。

【4.願いや夢を持って心豊かに生きる】

各学部の保護者がより多くの情報発信を望んでおられます。小6・中3の進路説明会の他、PTAや夏季休業中の福祉施設見学会の実施、ホームページへの福祉施設情報の掲載、校長室前の進路情報コーナーなどに加えて、今後もより充実した発信を目指します。小項目⑯については、「わからない」の保護者の回答が20.3%と、23の小項目の中で最も多い結果となりました。この回答結果は具体的に考えにくい項目内容であったことに起因すると推測されます。例えば、「学校で友達や先生と会いたいな…」といった願いから、卒業後の進路に関わる願いまで幅広く、児童生徒の思いを感じ取ることが難しかったと考えられます。児童生徒の学校での表情、様子、好きなことなどを保護者と共有し、児童生徒の願いや夢を共に感じ取ることを目指したいです。また、一人一人が好きなことに夢中になることができる、また、安心して落ち着いて過ごすことができる居場所になるような魅力あふれる学校を築いていきたいと考えます。

【5.自ら考え、自ら行動する】

小項目の2項目について、小学部中学部保護者の現実度の回答が90%台から100%を示しているのに対し、高等部保護者は実現度が80%台を示しています。80%台は決して低い結果ではないですが、卒業後の進路を控えた高等部生徒は、主体的に取り組む中にも、達成感、満足感に加えて、将来を見据えた不安感もあり、それを保護者も少なからず感じられておられるのではないでしょうか。児童生徒が達成感や満足感を得るために、日々の授業において児童生徒の反応を確かめながら、目標設定や支援方法が適しているかを振り返ることが大切であると考えます。これまで培ってきた力に自信を持ち、それぞれが自ら考え、自ら行動する力をさらに高めていけるような学習や活動を目指します。

【6.役割を担い、役に立とうとする】

学校の取組については一定の評価をいただいているが、実際の場面で「児童生徒がやりがいを持って活動している」という点において、保護者が実感することが難しいとも考えられます。人の役に立てたことや、自分がイメージしていた通りにできたことで、「これからも自分の役割や仕事を頑張ろう」という達成感がやりがいにつながると考えます。学校、地域、家庭と様々な場面で役割を果たし、役に立てたことが実感できるような取組や児童生徒への言葉かけを心掛けます。

【7.ルールやマナーを守って行動する】

ルールや約束を幅広く捉えると、「よく出来ている」「出来ている」と回答しにくかったのではないかと推測されます。自分の思いが優先され、特に不安定な時などは、ルールや約束を守ることが難しいこともあります。「次はこうできたらいいね」と、本人が気付けるように指導するとともに、ルールや約束を守った行動が見られた時には「今の行動はよかったです」と言葉をかけ、児童生徒が実感できるような経験を積み重ねていきたいです。また、それぞれの児童生徒にとって優先的で大切なルール、あるいは約束を、一つ一つ守ることにより、人との関わりにおいてルールや約束を守ることの大切さを学び、行動に移すことが出来るようになると考えます。このような視点を大切にして取組を継続します。

【8.全体に関すること】

大項目「全体に関すること」については、すべての小項目において、90%から100%の実現度の回答をいただいている。小項目につきまして、「児童生徒を愛し、人権を大切にすること」「授業を大切にし、熱意を持って児童生徒の指導や支援すること」は学校教育の大前提です。今後、実現度が100%になることを目指して、真摯に取り組んでいきます。また、児童生徒を保護者、学校が一丸となって育んでいくためには「学校の様子を保護者に伝える」ことは必要不可欠なことです。学年だよりや学校だより、ホームページ等を充実させて、また、コミュニケーションを大切にしながら、児童生徒の情報の共有を大切にしています。



【児童生徒アンケート各項目の実現度について】

* 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階（未記入もあり）

質問項目	そう思う
1. 自分の心や体を大切にしている。	74%
2. しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている。	74%
3. 友達と仲良くしている。	88%
4. 学校で、自分のやりたいことに挑戦している。	76%
5. 学校で、当番や係活動に頑張って取り組んでいる。	85%
6. 自分なりの方法で挨拶をしている。	84%
7. ルールや約束を守って行動している。	79%
8. 学校の授業内容は、よくわかる。	82%
9. 自分が「できたこと」や「がんばったこと」を、先生がほめてくれる。	81%
10. 毎日、学校に行くことが楽しい。	81%
11. 手洗いやうがい等に取り組んでいる。	73%

児童生徒アンケートは、児童生徒の実態に合わせて、本人による記入や担任による聞き取りで行なっています。「そう思う」の回答が80%を越えている項目の数値にはグレーで着色しました。「友達との関わり」「当番、係活動」「挨拶」「授業内容」など、学校や教室での様子がうかがえ、充実感を持って学校生活を送っているととらえることもできます。逆に80%に満たない項目は、保護者、教職員の回答傾向と類似しているとも言えます。

今後も家庭と協力しながら、児童生徒の健康管理や学校でのよりよい学びを深めていくことを目指します。

後期も「学校評価アンケート」を実施します。ご協力をお願いいたします。

